

部会・プロジェクト紹介③

CLUB-FOREST

このコーナーでは MELON の活動母体である各部会・プロジェクトの活動を、1つずつピックアップして紹介していきます。

楽しみながら、気軽に「環境」について一緒に話しませんか？

毎日分別している、プラスチック容器。回収された後、これっていったいどうなっているの？ 身近な所で感じる、ふとした疑問は意外とたくさんありますよね。CLUB-FOREST は、ちょっと「環境」を学びながら、参加者同士の交流を楽しんでもらう「環境サロン」です。毎月1度、学校帰り・仕事帰りに立ち寄りやすい金曜日、19:00 から開催しています(参加無料です)。コーディネートは、学生による環境サークル RNECS(ルネックス)と MELON が協力して行っています。

CLUB-FOREST で取り上げているテーマは色とりどり。これまでにエコ商品、プラスチック容器包装、紙について話し合いました。7月には東北アジア研究センターの明日香壽川先生を講師にお招きして、地球温暖化問題についてお話をいただきました。



「そもそも環境問題って何だろう？」

「他の人はどう考えているの？」

日常の疑問をみんなと話し合いましょう。集まった方から貴重な意見が聞けるはず！ 学生の方も気軽にご参加ください。もちろん、「学生には負けない！」という社会人の方も、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

10月15日(金)には地元と仙台、都会と田舎。それぞれが抱える環境問題について話し合います。夏休みを利用して地元に戻った RNECS メンバーが感じた想いを発表します。お楽しみに

RNECS 福田睦

MELON20周年をめざせ！

50人リレートーク

第3回目の執筆者



及川昭子さん

(JAみやぎ女性組織協議会フレッシュミズ前会長)

今年の春フレッシュミズ会会長の任期を終え二期四年間たくさんの方と出会い、たくさんの方の体験を学びました。中でも主婦でもある私は『食』についていろいろ考えさせられ実感しました。その中のひとつには、前回登場した加藤さんの企画であった「豊かさの死角『無登録農薬』から考える」がきっかけでフレッシュミズの仲間100人に協力いただき食に関するアンケートを取りました。

農業地帯なのにスーパーの惣菜を使う人が多く「地産地消」を知らないと答えた方が43%と多く驚きました。農家でもパートなど会社務めの主婦が多いので安くて便利な食材での食事が多いようです。

さっそくこれについての話し合いを持ち10人の仲間と思いに話し合いました。

私は「残留農薬」で疑問視された中国に行って畑や野菜の冷凍工場の見学した時の事なども話しました。また、年配の方に「家の嫁は足元にうちの畑で取れた野菜を置いておかないとすぐ買って来ちゃう」と言われていました。確かにそうなんです。家の前に畑があっても取りにいかずに買って来ちゃう方が多いようです。子ども達が学校で食の学習時間で習っていても母親の認識が不足しているのも問題かと思えます。昨年アメリカシアトルに行き有機農家の女性経営者達と話をすることがあり「安心安全の顔の見える野菜でないと売れない」と話しました。どれだけ自家製野菜が大事か、おじいさん、おばあさんが作ってくれる野菜が体にいいものかをこれからも私達の仲間を通してどんどん伝えていきたいと思えます。

..... 次号予告

次は、星智宏さん。宮城県農協青年連盟前委員長。

「子ども農業体験学習推進フォーラム」にパネリストとして参加。子どもの農業体験学習の指導・受け入れ等を行う。

.....